健康科学部看護学科・助産学専攻科・大学院健康科学研究科看護学専攻

2026.10.19

１．学生の状況

1）1 年次生　在籍者数 84 名

3 学科共通科目である健康科学群の授業では、健康科学の概念や健康について学びました。また、基礎看護学では、看護に必要な基礎的知識および看護技術の修得に取り組みました。初年次教育として実施している「基礎ゼミナール」は、今年度で 17 年目となります。オリエンテーションにおいて主体的な学修方法を修得したのち、グループ別のテーマ討論を通じて論理的思考力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力などを養いました。これらの学びは、後期の看護技術等の実技演習に活かされています。

2）2 年次生　在籍者数 83 名

専門基礎科目から専門科目である看護学へと学修が進み、新生児から高齢者までのライフサイクルに沿った看護の知識と技能を学修しています。7 月 3 日には、「基礎看護学実習Ⅱ」に先立ち「看護学実習に向けての宣誓式」を開催しました。この実習は初めて入院中の患者さんを受け持つ大きな節目となるため、看護師を目指す者としての自覚や倫理観、責任感を高め、実習への心構えを新たにする目的で行ったものです。実習では、日常生活の援助を通じて看護のやりがいを実感するとともに、各自の今後の課題を見出すことができました。また、学友会やサークル活動などにも主体的に取り組んでいます。

3）3 年次生　在籍者数 84 名

4 月より、保健師教育課程(20 名)、養護教諭養成課程(9 名)、訪問看護・地域看護コース(4 名)の履修が始まり、3 年次前期にはそれぞれの専門に特化した学修を深めました。

8 月 31 日から実施した臨地実習ガイダンスを経て、9 月 7 日からは約 1 年間にわたる本格的な臨地実習(3 年次後期～4 年次前期)に取り組んでいます。また、前期から「卒業研究Ⅰ」が始まり、ゼミ単位で個人またはグループでの研究を進めています。7 月 31 日には中間発表会を開催し、他ゼミからの質問や意見を取り入れることで研究の視点をさらに深める貴重な機会となりました。現在は、今後の調査研究等の実施に向けて倫理審査会への申請準備を進めています。

4）4 年次生　在籍者数 85 名

7 月末に 1 年間の臨地実習が終了し、8 月初旬には実習の集大成となる統合実習を終えました。8 月末からは、保健師教育課程(22 名)、養護教諭養成課程(4 名)、訪問看護・地域看護コース(4 名)の学生が、行政機関や市内の小・中学校、訪問看護ステーションにおいて臨地実習に取り組みました。各教育課程では、学修のまとめとして実習報告会の開催や準備を進めています。

卒業研究については、10 月 9 日に卒業研究論文を提出し、11 月 13 日に予定されている卒業研究発表会に向けて準備を進めています。

就職・進路支援においては、修学・キャリア支援センターと連携しながらエントリーシートの作成や面接対策などに取り組みました。学生は、それぞれ希望する病院や行政機関等から内定を得ており、現在は国家試験全員合格を目指して試験対策に取り組んでいます。

２．就職・進路

14 期生の進路予定　(2026.10.1 現在)

	看護師	保健師	養護教諭	助産学専攻科(進学)	訪問看護ステーション	大学院助産学(進学)	計
内定	53	12	0	3	1	4	73
試験・結果待ち	1	5	0	2	0	0	8
その他	0	0	4	0	0	0	4
計	**54**	**17**	**4**	**5**	**1**	**4**	**85**

３．助産学専攻科

助産学専攻科には 6 名の学生が在籍しています。学生は、くらしきサテライトを拠点に、4 月から 7 月中旬まで講義を受講し、助産師としての基礎的な知識・技術・態度の修得に努めました。7 月下旬から 12 月にかけては、県南地域の実習施設を中心に助産学実習を実施しています。

分娩介助実習では、実習指導助産師の指導のもと、産婦に寄り添ったケアを実践しながら、生命の誕生に立ち会う貴重な経験を積んでいます。助産所実習では、一人の方を妊娠期から継続して受け持つことで、対象者の思いや価値観を尊重し、安心・安全な出産を支援するためのコミュニケーション能力や倫理的感応力を高めています。また、国家試験合格に向けて、卒業研究・試験勉強にも取り組み、忙しいながらも充実した毎日を過ごしています。就職活動においては、6 名全員が希望する医療機関から内定を頂いています。

４．大学院健康科学研究科看護学専攻

博士前期課程には、1 年次生 5 名、2 年次生 2 名の計 7 名が在籍しています。1 年次生は、予定していた前期の講義を全て終えました。後期は、各自、研究テーマの絞り込みを行い、2027 年 1 月の研究構想発表会に向けて研究を進めていきます。2 年次生 2 名は、9 月 1 日の中間発表会を終えて今年度の修了を目指し研究結果の分析を深めています。今後は、12 月末に修士論文を提出し、学位申請の予定です。

博士後期課程には、1 年次生 3 名、2 年次生 2 名、3 年次生 4 名の計 9 名が在籍しています。2023 年度の設置から 4 年間、順調に定員確保が出来ています。大学院では、対面授業に加えて適宜オンラインによる授業や Teams を活用した個別の研究指導をしています。

５．学部の今後の予定

2026 年　11 月 13 日(金)	卒業研究発表会
12 月 17 日(金)	キャリア支援セミナー
11 月 28 日(土)	学校推薦型選抜入試
2027 年　2 月 11 日(木)	助産師国家試験
2 月 12 日(金)	保健師国家試験
2 月 14 日(日)	看護師国家試験
2 月 25 日(木)	一般選抜入試(前期日程)
3 月 12 日(金)	一般選抜入試(後期日程)
3 月 20 日(土)	卒業式・修了式
3 月 23 日(火)	選択制教育課程選考試験

健康科学部看護学科　塩見　和子
助産学専攻科　井上　理絵
健康科学研究科　矢庭　さゆり